

キャラクター名 バルディス・イグドラシル・ユリル・オルディーネ プレイヤー名 _____

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	一般人	性別	女性	年齢	17
冒険者Lv	15	経歴	かつては貴族だった		
経験点	3390		絶対に知られたくない秘密がある 敵対する者がいる		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	7	器用度	11	36	54	9
		敏捷度	6	5	18	3
体	7	筋力	11	37	55 + 2	9
		生命力	7	14	28	4
心	7	知力	8	16	31 + 2	5
		精神力	6	12	25	4

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	15	アルケミスト	9				
プリースト/ヒューレ	13	ライダー	10				
マギテック	15						
スカウト	12						
レンジャー	11						
セージ	12						
エンハンサー	8						

戦闘特技			
タフネス	2122p	かばう	1B36p
ルーンマスター	1B34p	マルチアクション	1B39p
バトルマスター	3143p	キャパシティ	1B29p
トレジャーハント	2120p	武器習熟S/ソード	1B31p
ファストアクション	2123p	頑強	1B29p
影走り	2120p	魔力撃	1B39p
トレジャーマスター	3143p		p
治癒適性	2122p		p
不屈	2123p		p
ポジションマスター	2123p		p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
マナ耐性	3144p		p
武器習熟A/ソード	1B31p		p
なぎ払い	1B38p		p
全力攻撃	1B36p		p
斬り返し	1B36p		p

技能	基本レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	15	24	18	24
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要ランク			
鎧	盾	筋力	回避力	防護点	
チェインメール	〈無銘の質量防壁〉	18	-1	6	
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値	19	18	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
フランベルジュ	2H	23		2d+ 24	10	27	38										
〈無銘の光剣〉	2H	4		2d+ 24	9	27	30										
〈無銘の狙撃光線銃〉	2H	8		2d+ 0	9	50											
〈固有霊装『妃竜の罪剣(レーヴァテイン)』〉 魔法の武器加工済	2H		44	2d+ 68	69	57	78										
ガナリー・カーバー SP:88 魔法の武器加工済	2H	10		2d+ 0	10	136	特										
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 _m	18 _m	54 _m

回避	防護点
2d+ 19	18

HP
103

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
神聖魔法	13	48			
魔動機術	15	50			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 17	2d+ 15

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 19	2d+ 19

MP
124

装備品	説明
頭 とんがり帽子	魔物知識判定+1
耳 ゴールデン耳栓	呪歌に対する精神抵抗判定+2
顔 ひらめきメガネ	見識/まもちき+1
首 熊の爪	マッスルベアー+1
背中 騎士のガーマント(フード付)	炎属性と水、氷属性ダメージを-2。+名誉点20点
右手 怪力の腕輪	筋力+2。
腰 真ブラックベルト	
足 軽業ブーツ/スパイクヒール	転倒しなくなる/1Rに一度、形状:突破の向きを変えられる
その他	フローティングマクスフィア

装備品	説明
通話のピアス	
ウェポンホルダー	
左手 知性の腕輪	知力+2。

その他メモ	自動失敗チェック
CV: 内田彩	
リーゼン地方にあった「ファンタジニア王国」と呼ばれる国の王女。イグシル・マクスウェルは偽名であり、本名は「バルディス・イグドラシル・ユリル・オルディーネ」。	□□□□⑤
	□□□□⑩
「ファンタジニア王国」は一夜にして崩壊・消滅した国家としてザルツにもその名前が広がっている。その一夜の惨劇の最中、唯一生き残った王族であり、他の生き残った家臣の手引きによってザルツにまで逃れてきた。	□□□□⑮
強いショックでその記憶は断片的にしか把握しておらず、王国消滅の原因は掴めていない。だが、それが自分の命を狙っているのだらうと確信し、常に危機感を抱いている。	□□□□⑳
その後、偽名を用いて学園へとやってくる。(時期的には本編開始の半年前程度)理由としては、自分の身を安全なところに置くという家臣の判断もあるが、一番はイグシル自身が王国を消滅させた「何者」かを、この手で討ち滅ぼすため自分を鍛えるという目的が強い。	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓

